

「あやせゼロの日運動」アンケート集計結果

「あやせ家庭読書の日、ノーテレビ・ノーゲームデー運動」

【令和4年度調查】

1 調査概要

平成24年5月に「あやせゼロの日運動」はスタートしました。 この運動について、各家庭の実施状況を調査するとともに、今後の運動の参考とする ため、令和2年度に続き、アンケートを実施しました。

今回のアンケートは、令和2年度と同様に小・中学生、保育所・幼稚園児をもつ家庭 に対して実施しました。

2 実施期間

・保育所・幼稚園:令和4年12月19日(月)~令和5年1月30日(月) ・小学校:令和5年1月11日(水)~令和5年1月23日(月) ・中学校:令和5年2月1日(水)~令和5年2月10日(金)

3 調査基準

・保育所・幼稚園:令和4年11月の実施状況を調査・小学校: つ和4年12月の実施状況を調査・中学校: つ和5年1月の実施状況を調査

4 回答者数

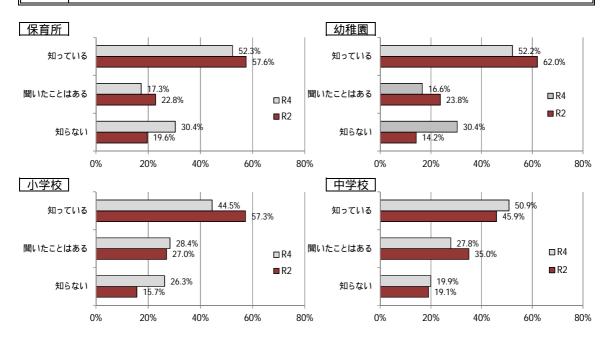
・保育所 14園(保護者) : 237人 ・幼稚園 9園(保護者) : 247人 ・小学校 10校(1~6年生): 2,707人

・中学校 5 校(1・2年生): 291人(各学年1クラスを抽出)

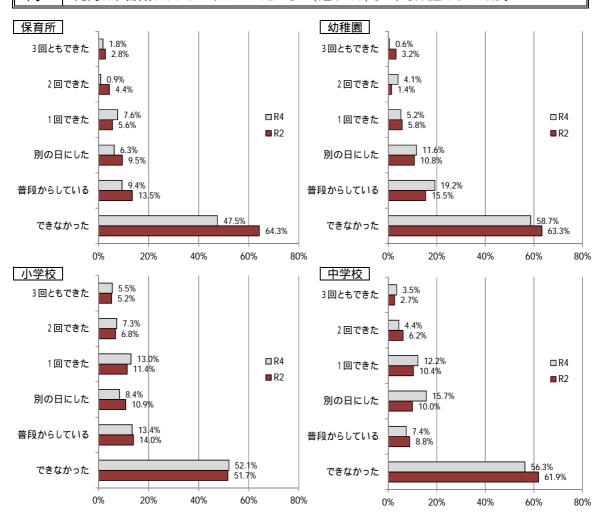
合 計: 3,482人

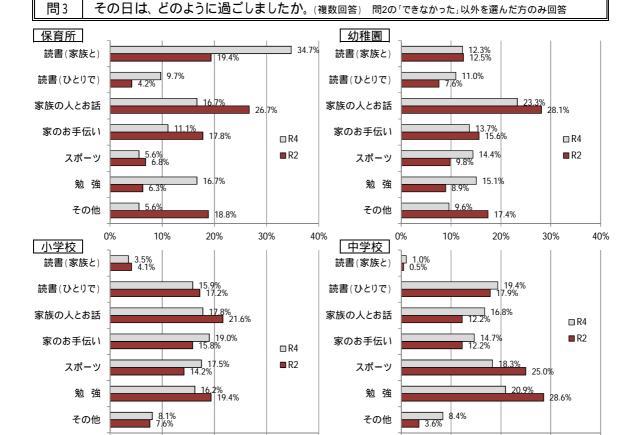
綾瀬市役所 市民環境部 生涯学習課 生涯学習担当 電話0467(70)5658

問1 毎月ゼロの日(10日・20日・30日)が「テレビやゲームを一休みして、読書や家族といっしょに過ごす日」ということを知っていますか。



問2 先月は、普段よりテレビやゲームをしない(短(した)など、取り組めましたか。





40%

0%

10%

20%

30%

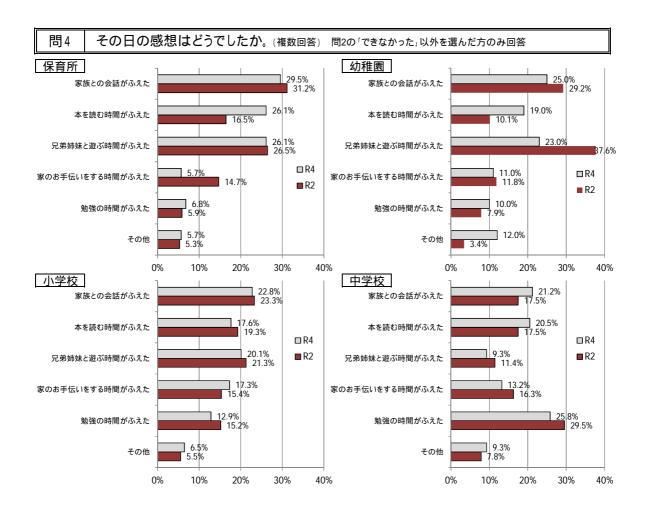
40%

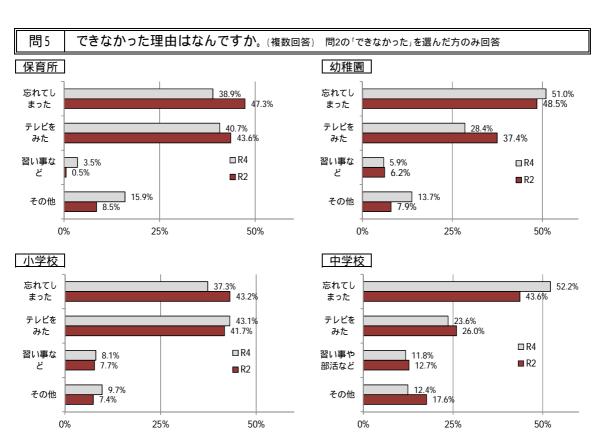
0%

10%

20%

30%





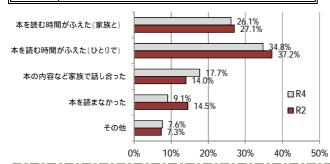
小学校の問6・問7(1年生のみ回答)

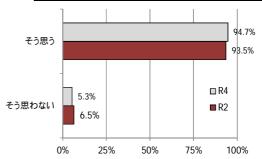
問6

セカンドブック事業で、7月に学校を通じて絵本を配付しましたが、どうでしたか。(複数回答)

問7

セカンドブック事業は今後も続けたほうが良いと思いますか。





「セカンドブック事業」:新小学1年生全員に絵本をプレゼントすることで、親子で本に親しむ機会や 子どもたち自身が本に出会う機会の提供を行う事業です。

四捨五入の結果、合計が100%にならない場合があります。

アンケート結果(令和4年度)から得られた課題と方向性

「あやせゼロの日運動」を「知っている」または「聞いたことがある」の割合は、72.5%という結果で、令和2年度同様、運動の認知度について引き続き高い結果が出ました。

一方、運動を取り組めたかについては、全体で39.4%という結果になりました。

実施できた家庭では、保育所、幼稚園の場合は「読書(家族と)」「家族の人とお話」「家のお手伝い」と答える方が多く、小学校、中学校と年齢が進むにつれて、勉強やスポーツ、ひとりで読書をする方が多くなっています。

新小学1年生を対象に実施しているセカンドブック事業については、78.6%の家庭が、絵本の配布を行うことによって家族又はひとりで本を読む時間や話し合う時間が増えたとの回答がありました。

今後も、市では「あやせゼロの日運動」の啓発活動を行い、家庭で取り組んでいただけるように保護者の方に積極的に伝えてまいりたいと思います。また、各種事業により、読書の習慣づけや親子のふれあいの機会づくりを推進するとともに、「あやせゼロの日運動」を通して、より一層、子どもたちの豊かな心と成長に望ましい生活習慣の定着を目指してまいります。

為や世世口の日運動



毎月ゼロの日(10日、20日、30日)はテレビやゲームを一体みして、読書や家族の時間として過ごしましょう。

あやせゼロの日運動ってなに?

この運動は、子どもたちの健康的な生活習慣を定着させ、豊かな心を育成するため、毎月ゼロのつく日(10日・20日・30日)は、テレビやゲームをひと休みして、家庭での読書、家族の会話やふれあいなど、家族の時間を充実していただくことを目的とした取り組みです。